

～地域の連携で首都直下地震に備える～ 鶴見区“災害医療訓練”を実施します

「東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3の首都直下型・区内最大震度6強の地震発生」という状況を想定し、医療機関、関係団体及び地元町内会などと相互に連携した訓練を行うことで、災害時における連携体制の確認及び検証を行います。



1 実施日時

令和2年1月19日(日)午前9時30分から正午まで
(会場により開始時間が異なります)

2 主な会場

済生会横浜市東部病院(※メイン会場)、区内災害時救急病院等、医療救護隊参集拠点(汐田総合病院)、地域防災拠点(下末吉小学校)、区内福祉避難所(寺尾地域ケアプラザ・東寺尾地域ケアプラザ・駒岡地域ケアプラザ・馬場地域ケアプラザ・うしおだ老健やすらぎ)、鶴見大学、鶴見区役所

※メイン会場の済生会横浜市東部病院では、訓練が見学できます。

3 開催形態

(1) 主催

鶴見区災害医療連絡会議(済生会横浜市東部病院、鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、汐田総合病院、佐々木病院、平和病院、横浜在宅看護協議会、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所)

(2) 協力・参加

区内災害時救急病院等、地域防災拠点(下末吉小学校)、区内福祉避難所(寺尾地域ケアプラザ・東寺尾地域ケアプラザ・駒岡地域ケアプラザ・馬場地域ケアプラザ・うしおだ老健やすらぎ)、神奈川DMAT(川崎市立川崎病院・横浜労災病院・済生会横浜市南部病院他)、横浜市薬剤師会、湘央生命科学技術専門学校、横浜市医師会聖灯看護専門学校、横浜市医療局、神奈川区役所、西区役所 他

4 主な訓練内容

- ※災害拠点病院(済生会横浜市東部病院)、災害時救急病院における災害時実動訓練
- ※区災害対策本部の開設・運営、情報受伝達(関係医療機関・地域防災拠点・福祉避難所ほか)
- ※医療救護隊の参集・編成、地域防災拠点への巡回・出動、トリアージ講習・実地訓練
- ※地域防災拠点の開設・運営、モバイルファーマシー配備訓練、傷病者の病院への搬送
- ※福祉避難所の開設・運営、要援護者受入れ

5 参加予定者数

約800名

6 取材について

取材にお越しいただける場合は、1月17日(金)までに以下お問合せ先へご連絡をお願いいたします。

	お問合せ先	
鶴見区福祉保健課長	市川 裕章	Tel 045-510-1790